

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 1 全体評価</p> <p>【原文】 「一方、医文理融合型の研究科及び社会科学系の博士課程の設置の構想はあるものの具体的な内容の検討がされていないことから、今後、早急な対応が求められる。」</p> <p>【申立内容】 削除願いたい</p> <p>【理由】 後述の下記「申し立て内容」の理由と同じです。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>【評価項目】 2 項目別評価 Ⅱ. 業務運営・財務内容等の状況 (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>【原文】 【法人による自己評価と評価委員会の評価が異なる事項】 ○ 中期計画【200】「医文理融合型の研究科及び社会科学系の博士課程の設置を目指す」（実績報告書18頁）については、医文理融合型の研究科及び社会科学系の博士課程の設置の構想はあるものの具体的な内容の検討までには至っていないため、中期計画を十分には実施していないものと認められる。</p> <p>【申立内容】 削除願いたい</p>	<p>【対応】 意見のとおりとする。</p> <p>なお、正確な評価に支障を来すため、今後、実績報告書の作成等に当たっては、実施状況内容の明示や正確性を高めるなど、充分留意することが求められる。</p> <p>【理由】 事実関係に即した修正。</p>

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 2 項目別評価 II. 業務運営・財務内容等の状況 (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>【原文】 【法人による自己評価と評価委員会の評価が異なる事項】 ○ 中期計画【200】「医文理融合型の研究科及び社会科学系の博士課程の設置を目指す」（実績報告書 18 頁）については、医文理融合型の研究科及び社会科学系の博士課程の設置の構想はあるものの具体的な内容の検討までには至っていないため、中期計画を十分には実施していないものと認められる。</p> <p>【申立内容】 削除願いたい</p> <p>【理由】 中期計画【200】「医文理融合型の研究科及び社会科学系の博士課程の設置を目指す。」については、医学系研究科と工学系研究科の其々において、医文理が融合した教育・研究組織と教育課程を編成し、博士課程を改組する構想の下に計画を進めています。 医学系研究科博士課程では、医文理融合型の総合支援医科学コースを編成し、旧専攻改組による新たな医科学専攻の設置が平成 19 年度に認められ、平成 20 年度に開設する運びとなり、医学系研究科の分野では、既に計画を達成しています。 また、工学系研究科は、社会科学系の研究分野と連携した教育・研究体制を既に整</p>	<p>【対応】 意見のとおりとする。</p> <p>なお、正確な評価に支障を来すため、今後、実績報告書の作成等に当たっては、実施状況内容の明示や正確性を高めるなど、充分留意することが求められる。</p> <p>【理由】 事実関係に即した修正。</p> <p>以上の修正に基づき、「業務運営の改善及び効率化」に、下記の注目事項を追加する。</p> <p>『○ 医文理融合型の研究科及び社会科学系の博士課程の設置について、工学系研究科の博士課程改組を含め、中期目標の達成に向けて教育・研究組織及び教育課程に関する着実な取組が期待される。』</p> <p>また、以上の修正に基づき、「業務運営の改善及び効率化」の評定を以下のとおり修正する。</p> <p>『【評定】 中期目標の達成状況が良好である。 (理由) 中期計画の記載43事項すべてが「中期計画を上回って実施している」又は「中期計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。』</p>

え（中期目標の達成状況報告書：中期計画【086】、179～180 ページ参照）、社会科学系と融合した教育課程による技術者養成を盛り込んだ博士課程改組案について、文部科学省との協議を行っており、平成21年度成案・設置決定、平成22年度学生受け入れを目指して計画が進捗しています。

従って、中期計画のほぼ9割を達成と自己評価したもので、「医文理融合型の研究科及び社会科学系の博士課程の設置の構想はあるものの具体的な内容の検討までには至っていないため、中期計画を十分には実施していないものと認められる。」との評価結果案は、事実誤認と考えられ、再確認のうえ、削除をお願いする次第であります。

このような誤解が生じた原因としては、本学の実績報告書（平成20～21年度の実施予定）において「工学系研究科は、社会科学系分野を含む新しい教育課程編成の構想を策定し、平成22年度開設を目指す。」との記載をしてしまい、これにより具体案が未検討と判断されたものと推察されます。ここで用いた「構想」は、設置認可を申請する最終案を意図したものであり、不適切な用語表現により、判断に誤解を生じさせたことを深く反省し、お詫び申し上げます。

なお、平成19年度業務実績評価において、当該年度計画【200-01】は、「十分に実施されている」との評価を受けていることを申し添えます。